

森の里小学校

研修部通信

令和3年7月21日

提案授業 (4年1組土田学級)

7月9日(金)に4年1組土田学級で今年度の提案授業が行われました。算数科「角の大きさを調べよう」の単元では、角の大きさについて単位と測定の意味について理解したり、角をかいたりできるようにします。また、算数的表現を適切に活用して角の大きさや図形について考察する力を養うとともに角を測定した経験を振り返り、学習にいかそうとする態度を養うことが目標です。本時では、 180° より大きい角度の測定の仕方を既習の分度器を用いた角度の測定の仕方をもとに考えて説明するという目標に迫り、授業が展開されました。授業終了後に出された成果や課題について視点ごとにまとめます。

視点1にかかわって

180° 以上の角度をどのように測るとよいか見通し、一人学びでの解決につなげることができる。

[成果]

- 既習事項から見通し、見通しから一人学びまでの流れがスムーズだった。
- 見通しの場面での気づきが、その後の自力解決につながっていた。

[課題]

- 見通しが具体的だったことから、答えがすぐにわかってしまった。



視点2にかかわって

教科書のデジタルコンテンツを活用しながら、解決方法を式や言葉で説明できる。

[成果]

- タブレットを使うことでペアでの交流がしやすかった。
- 全員の考えが出たことで全体交流の場面では、わからない子の意見が採用され、そこから考えが深まった。
- 短時間で個々に振り返りができていた。

[課題]

- 適用問題で戸惑っている子が見られた。
- 学年の発達段階に応じて、操作をしながら説明をしていくことも増やしていけると良い。
- ペア交流を積極的にできない児童への手立て。



Chromebook の活用について

[成 果]

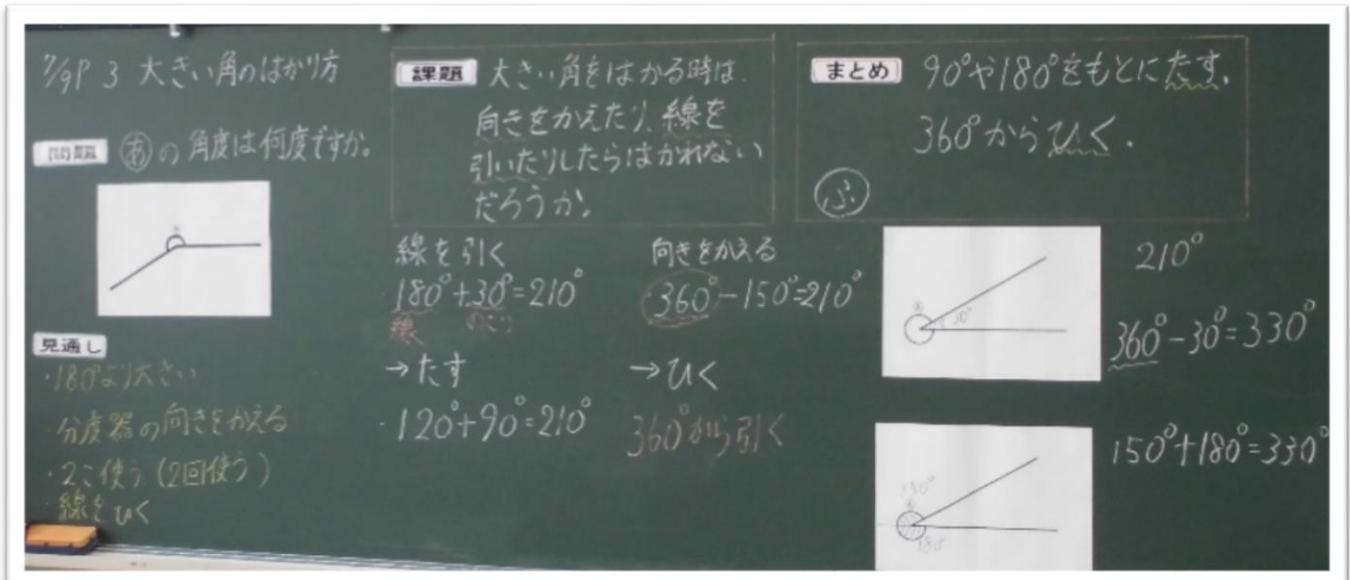
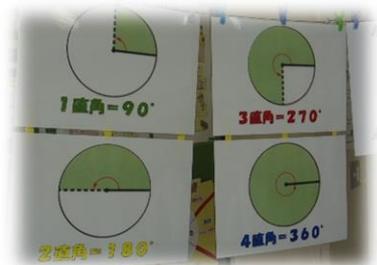
- 書いたり消したりがスムーズにでき、何度も考えを直すことができるのがよい。
- 児童全員の考えを見られるのがよい。
- 全体交流までに全員が Chromebook を経由して提出することができたので交流の充実が図れた。

[課 題]

- ノートに考えが残らない。ノートとの併用の方法など、効果的な活用を図る。
- タッチペンがあるとかきやすい。



既習内容がわかりやすく見やすいところに掲示されていました。



学習用具のひとつとして活用されることになった Chromebook。国語では新聞づくりで写真を撮影し送信する作業や作った文章をドキュメントにタイピングして交流、理科や社会では振り返り問題として Forms でミニテスト、総合ではドキュメントを使ったタイピング練習など、4年1組では日常的に Chromebook を活用し、子どもたちが様々な方法で学習に取り組み、内容を理解し深めていることがわかりました。お忙しい中、授業公開をして下さった土田先生、大変ありがとうございました。

